

二十日だいこん

アブラナ科：ヨーロッパ

栽培暦

月 旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主 な 作 業																																				

■栽培のポイント

1. 酸性の土に弱いので前もって石灰を施し、完熟堆肥を十分に施用する。
2. 間引きを適期に行い、揃いを良くする。
3. 収穫適期の幅が狭いので適期収穫に努め、裂根やす入りを防ぐ。

■特性

- ・ 冷涼な気候を好み、生育適温は 15～20℃である。生育が早く、生育日数は 20～30 日である。別名「ラディッシュ」。
- ・ 土壌適応性が広く土質は選ばないが、有機質に富んだ保水性、排水性の良い壤土や砂壤土では根の太りが良く、表皮がきれいになる。

■品種・種子量

- ・ さくらんぼ（赤丸形）、紅白（紅白紡錘形）、アイシクル（白長）、赤長二十日大根（赤長）、カラフルファイブ二十日大根（5色丸形）など。
- ・ 種子量は直播で a 当り 300～500 ml。

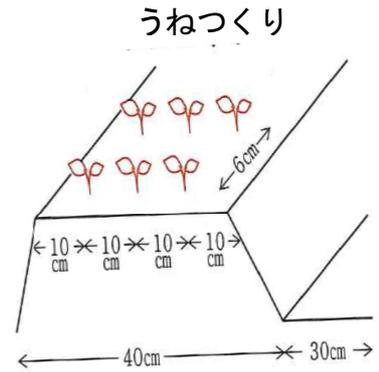
■本畑の準備

- ・ 畑の pH は 6.0～6.5 を目標に、pH 測定してから石灰資材の投入量を決める。
- ・ 完熟堆肥や石灰質資材を播種 2 週間前全面に施し、十分に耕うんする。
- ・ 基肥は播種 1 週間前に全面散布し、よく土と混ぜておく。
- ・ 畝間 75cm、ベッド幅 40cm の畝を形成する。排水が悪い圃場では高畝とする。

施肥例

(a 当り)

肥料名	基肥	備考
完熟堆肥	200kg	} 窒素 1.1kg 成分量 磷酸 0.8 加里 1.0
苦土石灰	20	
MMB14号	8	



■播種

すじ播き：条間 10～15cm 程度になるように L 字鋼で浅く溝作り、すじ播きして覆土する。

播種機（ごんべえ等）を使った直播：株間 7cm にセットし、条間 10～15cm で播種する。

シーダーテープ利用：株間 6cm、一粒のシーダーテープを利用し、条間 10～15cm で播種する。

播種後は、軽くかん水を行う。

■栽培管理

【除草】 手取りの除草は、できるだけ早いうちに行う。

【間引き】 すじ播きでは、子葉が開いたら形の良いものを残し、混み合った所を間引きする。
本葉 3～4 枚頃まで順次間引いて 1 本立ちにする。1 本立ちの時の株間は 5～6cm とする。

【かん水】 品種によって乾燥すると根割れを起こすことがあるので、乾燥する場合はかん水する。特に、1 本立ち後は乾燥するような時にかん水すると根の肥大が良くなる。

【寒冷しゃのべたがけ】 浅漬け加工に用いる場合は葉も大切なので、寒冷しゃのべたがけかトンネル栽培を行うと害虫の食害のないものが収穫できる。

■病虫害防除

- ・主要なものは根こぶ病とキスジノミハムシである。根こぶ病に対しては、土壌酸性の矯正、排水、輪作などによる耕種的防除に努める。
- ・キスジノミハムシ、アブラムシ、アオムシ等も防虫ネットの設置等物理的防除に努める。

■収穫

- ・本葉 5～6 枚、根の直径が 2cm になったら早目に収穫する。目標収量は a 当り 80～100 kg。